

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年6月15日発行

— 2017.6.5～2017.6.11—第23週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	患者数	累計	宮 城 県 (含む仙台市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼				第20週	第21週	第22週	第23週	
水痘	1 0.20	6 0.60		1 0.50			1 0.50	6 0.22	15 0.25	550	レ				
流行性耳下腺炎		2 0.20	1 0.20					8 0.30	11 0.19	257					
百日咳									0 0.00	0					
感染性胃腸炎	30 6.00	44 4.40	11 2.20	18 9.00	9 3.00	35 7.00		243 9.00	390 6.61	6,415	◎	◎	◎	◎	
手足口病	5 1							24 0.89	29 0.49	98					○
伝染性紅斑	8 1.6								8 0.14	67					
突発性発しん	1 0.20	5 0.50	5 1.00		2 0.67	4 0.80		20 0.74	37 0.63	731	○	○	○	○	
ヘルパンギーナ		1 0.1	1 0.20					1 0.04	3 0.05	25					
インフルエンザ	1 0.13	1 0.07					15 1.88	7 1.75	4 0.09	28 0.29	26,992	◎	◎	◎	○
咽頭結膜熱		18 1.80		2 1.00		3 0.60		41 1.52	64 1.08	652	○	○	◎	◎	
流行性角結膜炎		6 2.00						1 0.17	7 0.58	55					
急性出血性結膜炎									0 0.00	0					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21 4.20	51 5.10	9 1.80	2 1.00	5 1.67	25 5.00	1 0.50	57 2.11	171 2.90	3,894	◎	◎	◎	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0					
無菌性髄膜炎									0 0.00	0					
マイコプラズマ肺炎				1 1.00			1 1.00	5 1.00	7 0.58	119					
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0					
RSウイルス感染症	2 0.40	6 0.60		1 0.50				13 0.48	22 0.37	259					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	50					
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		3	2		1	1		1						
	川崎病	1													
	不明発疹症								3						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 女性1名
気仙沼管内 女性1名(第21週)
仙台管内 男性2名、女性3名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

塩釜管内 女性1名
大崎管内 男児1名※
梅毒
仙台管内 男性2名
水痘(入院例)
気仙沼管内 男性1名(第22週)
※男児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸患者より

塩釜管内 第20週採取分 アデノウイルス41型 1件
アストロウイルス1型 1件
A群ロタウイルス 1件
塩釜管内 第21週採取分 サボウイルス 1件
アストロウイルス1型 1件

インフルエンザ患者より

石巻管内 第23週採取分 インフルエンザウイルスB型 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第20週採取分	第21週採取分	第22週採取分	第20週採取分	第21週採取分	第22週採取分
	(5.15～5.21)	(5.22～5.28)	(5.29～6.4)			
インフルエンザウイルスB(ヒクドリアケ系統)	0件	1件	0件			
RSウイルス	0件	1件	1件			
ヒトメタニューモウイルス	1件	0件	0件			
アデノウイルス	1件	2件	1件			
サイトメガロウイルス	0件	1件	1件			
パラインフルエンザウイルス(3型)	2件	6件	6件			

※先週に引き続き、パラインフルエンザウイルス3型の分離が増加しています。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
仙南、石巻管内で警報継続中

4. 今週のコメント

【咽頭結膜熱】

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症で、アデノウイルスが原因とされます。
県内では、仙台・塩釜管内で定点当たりの患者報告数が例年より多くなっています。例年、6月頃から徐々に流行し始め、7～8月にピークに達する傾向がありますので、今後の動向に注意が必要です。
季節的に、プールでの接触やタオルの共用により感染が拡大することもあるため、一般的に「プール熱」とも言われます。プールを介しての流行に対しては、プールの塩素濃度を適正に維持管理することが大切となります。日頃から流水と石鹸による手洗い、うがいをを行い、感染予防に努めましょう。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

